

今年は長い連休でした。みなさんいかがお過ごしでしょうか？さて、乳腺外科よりいくつかお知らせをお届けします。2.～4. はABCグローバル憲章の記事とともにすでにお伝えしていますが、たくさんの方に読んでいただきたいと思って、再録しています。

1. はなみずきの会 5月の定例会～多可町のオープンガーデン散歩のご報告

例年5月の定例会は、乳がん治療についての話と交流会なのですが、せっかくのこの季節に薄暗い部屋でスライドを見る、のはもったいなく、世話人の方の提案で今年から屋外に出よう、歩こう（秋の歩こう会の予行練習??）という企画となりました。天候が心配でしたが、良すぎるくらいいい天気となりました。湿気は少なく、木陰は爽やかで、多可町アスパルに集合後、2つのお庭散策に行きました。どちらのお庭もそれぞれに素晴らしく、リラックスできました。小さなお子さんも来て下さり、総勢13人で2時間をゆったり歩きました（約7000歩）。途中、治療のお悩みの相談や、よもやま話をしながら、道路に沿った小川に小魚やドジョウを見つけて、お子さんとともに歓声を上げたり、ハーブ水をごちそうになったりと、とても楽しいひとときでした。来年もぜひ、と考えています。

2. 多職種（すべて女性）の連携で、乳がん治療（特に薬物療法）の完遂ができています！

乳がんは早期発見すれば予後のよい疾患ですが、比較的再発しやすく、そのために、しこりが小さくても、がんのタイプによっては半年間の抗がん剤治療が根治のために必要となります。当院では、病理診断および治療方針を外来でゆっくり時間をかけて説明し、抗がん剤治療が術前に必要となった患者さんには、外来化学療法室のがん化学療法看護師さんに紹介しています。抗がん剤導入は1泊入院で行っており、病棟にはがん薬物療法認定薬剤師さんがいて、副作用についての説明や副作用対策について説明していただきます。また病棟や外来化学療法室の看護師さんがたくさん支えになっていただきます。このように多職種のチーム医療で患者さんの治療をサポートしています。当院は、日本乳癌学会の診療ガイドラインに準拠した治療方針を、上記の乳腺専門医—がん化学療法認定看護師—がん薬物療法認定薬剤師—病棟・外来看護師の連携（すべて女性）のおかげで治療を完遂される方がほとんどであり、そのために、平均よりも非常によい治療成績が得られています。ちなみに、常勤の乳腺専門医は北播磨に三輪のみ、がん化学療法認定看護師は北播磨に当院（1人）を入れて4人、がん薬物療法認定薬剤師は当院（2人）を含めて3人、さらに、放射線治療専門医は当院のみです。当院は、北播磨で唯一のがん診療連携拠点病院として、みなさんに質の高いがん診療をアットホームな雰囲気提供しています。

3. ABCグローバル憲章について

乳がんの患者さんが増え、日本では生涯乳がん罹患する患者さんは11人に1人とな

りました。乳腺診療に携わる医療者は、再発をゼロに近づけるべく最大限の努力を行っておりますが、再発の患者さんも徐々に増えてきています。また、まだまだがんに対する負のイメージや偏見から、しこりに気付いてもなかなか受診しづらい雰囲気があります。結果として、診断時に他の臓器に転移がある状態（進行乳がんといいます）で受診される患者さんも少なくありません。医療の進歩によって、乳がんの治療法は劇的に進歩してきましたが、進行・再発乳がん（Advanced Breast Cancer=ABC）患者さんの予後は依然として厳しい状況です。早期乳がんの治療方針を話し合う国際会議はザンクトガレンコンセンサス会議と違ってずっと以前から始まりました。おかげで早期乳がんの予後は劇的に改善してきました。しかし、ABC 患者さんの治療方針のための国際会議（Advanced Breast Cancer International Consensus Conference、通称 ABC 会議）は、ずっと遅れて 2011 年に始まりました。そして、このことに象徴されるように、ABC 患者さんの治療とケアの専門家は必要とされながら、まったく不足しているのが現状です。この現状に鑑み、三輪は、ABC を一番の専門としており、当初から毎回 ABC 会議に参加・発表してきました。ABC 会議の会長の Fatima Cardoso 先生が、ABC 患者さんの命と生活を守るための国際的な協力活動の基盤として ABC グローバル連盟を立ち上げられました。活動の拠り所として ABC グローバル憲章（原文は英語）が作成され、全世界に知っていただくために各国の言語に翻訳されています。三輪は日本語への翻訳を担当し、このたび正式にリリースされました。なかなかまい日本語に訳せなかったところもありますが、3 か月かかってなんとか全文を翻訳しました。ABC グローバル連盟からも全文をダウンロードすることができますし（<https://www.abcgloballiance.org/abc-global-charter/>）、当院の HP からダウンロードすることができます。興味を持たれた方はぜひご覧になってください。また近々 ABC グローバル連盟の事務局から、日本語版のブックレットとして 500 部当院に届くことになっています。病院その他で配布させていただきますので、どうかお手にとってみてください。

2015 年には、Cardoso 先生にインタビューもさせていただきました。先生の日本の ABC 患者さんへのコメントを下記に記します。「ABC の治療とケアには高いレベルのエビデンスが少ない、つまり患者自身がエキスパートなのです。だからこそ患者が声を上げる、また患者の声を聞くことが大事なのです。私たちは、皆さんのことを考え、皆さんのために闘い、そしてともに闘うために皆さんが必要です。是非医療者に自分の気持ちや困っていることを話してください。医師が常にすべてのことをわかっているとは限らないのです」

4. JMS（ジャパン・マンモグラフィ・サンデー）への参加について

JMS は日曜日に乳がん検診が受けられる日として、J-POSH が推進してきた企画です。今年の 10 月 20 日（日）に当院も参加させていただくことになりました。すでに広報を始めておりますが、6 月から予約受付を開始いたします。